

化学工業日報

2010年(平成22年)

2月5日 金曜日

第21788号(日刊、土・日・祝日除く)

化学工業日報

衣類向け可視光対応

光触媒コーティング剤「カタライズ」が開発へ

光触媒を素材とした環境改善製品のメーカーであるカタライズ(本社・神奈川県川崎市高津区、早川修社長)はこのほど、衣類に可視光で光触媒機能を持たせることができ

る光触媒コーティング剤の開発に着手した。現在の同社が販売している衣類の業務用光触媒は可視光では効果がない。また昨年3月、室内の壁にスプレーして可視光でも光触

媒機能を発揮する業務用光触媒液を発売したが、衣類の場合は浸漬処理するため、専用の液体組成や使用方法を早期に開発し、新たな加工技術として市場開拓する。

昨年発売した、可視光でも光触媒機能を発揮する業務用光触媒液「ヒカリアクターV3」は、酸化チタンを主成分に鉄、ニッケルなどの金属を配合。従来の窒素ドーパ型

酸化チタン光触媒と新製品を、紫外線カットした50000時間の可視光の下で48時間後にアセトアルデヒドの浄化率を調べたところ、新製品の浄化率は約80%で、従来品の約10倍の能力を示した。従来品は下地とコーティング液の2度塗りが主流だが、新製品は1度塗りのため作業効率も良い。1坪当たり2万円(税別)で、住宅、オフィス、医療・介護施設、公共施設など

を対象に拡販している。これに加え、衣類にも可視光で光触媒機能を持たせたいニーズに応え開発を進めているもの。同社は2006年3月設立のベンチャー企業。業務用光触媒液では、これまで衣類、カーテン、寝具などのテキスタイル製品の生地加工用の「Tシリーズ」、住宅、オフィス、自動車の内装向けなどに「Gシリーズ」も発売している。